

# 「56・10ダイヤ改」概要提案される。



81.7.11

No.789

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五〜六（公衆）四三二二七二〇七

## 燃料列車の昼間帯への移行、輸送力増強を 主体とした列車増発など！

国鉄当局は、七月十日、本年十月一日よりのダイヤ「改正」について、その計画概要の提案を行ってきた。

この「五六・一〇時改」は、旅客関係では千葉、津田沼間の複線化、新駅開業に伴う総武緩行、快速線の分離運転、列車増発、編成増強、車両増備などを主体とした内容であり、貨物関係は、懸案であった燃料列車の昼間帯への移行、新茂原駅貨物設備新設に伴う、貨物駅の集約、構内作業の見直しなどを骨子としたものである。

このように旅客関係の「輸送改善」を行う内容であり、他方は、貨物取扱い駅の廃止、作業員の見直し、勤務の新体系の導入など、国鉄三十五万人体制としての合理化、全面民託化攻撃を加えるという極めて問題視せざるをえない計画といえよう。

### 銚子を交之十一支部代表 精力的交渉を展開！

動労千葉は、このダイヤ改交渉に結成直後の銚子支部代表を含め文字通り十一支部代表が参加し精力的な交渉を展開した。

席上、国鉄当局の別記する提案に対し、①貨物駅集約・作業見直し、などを中心とした要員削減は認められないこと、②具体的労働条件を早急に提示し、組合主張に基づき改善することなどを申し入れ交渉を終った。

#### 当局提案

一、実施時期 十月一日（木）  
一、輸送改善の実施項目

#### 〔旅客関係〕

◎総武緩行線 (1)千葉、津田沼間十七往復増発

(2)津田沼、中野間二往復増発

(3)東船橋、幕張本郷新駅開業

◎総武快速線

(1)千葉、津田沼間九往復の増発

(2)津田沼、東京間一往復の増発

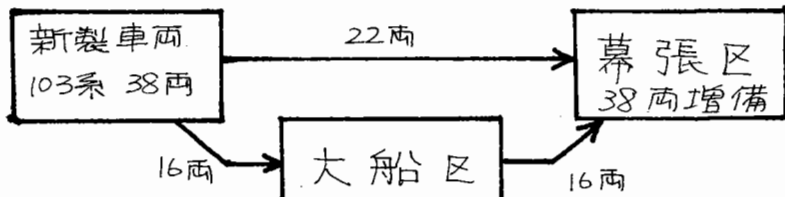
(3)編成増強（十一両↓十五両化四本）

◎総武・内房・外房線

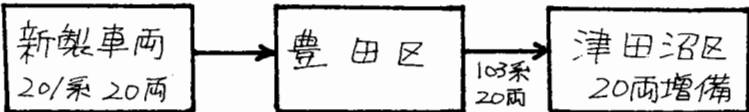
(1)線内貨物列車（各線一往復）を各駅停車とする。

(2)一四〇M、二三二Mの運転区間を改正し千葉終着とする（五六・七実施）

#### ◎総武快速線（幕張区）



#### ◎総武緩行線（津田沼区）



現改	種別	電車列車	気動車列車	荷物	貨物列車	総計
55・10		55644.0	1569.9	40.3	4508.0	61762.2
56・10		56408.6	1569.9	40.3	4502.2	62521.0
増減		764.6	—	—	△ 5.8	758.8

〔列車設定キロ比較差〕

#### 〔車両計画〕

#### ◎〔貨物関係〕

◎五五七〇列車（北鹿島、成田）及び五一八六、五四八七、五一八八、五四八九列車（蘇我、幕張、成田）の設定時刻を昼間に移行する。

◎新茂原駅に貨物設備を新設し、成東、東金、茂原の貨物取扱いを集約する。これにより現行二九三、二九〇列車は、運転区間変更となり佐倉、新茂原間となる。佐倉駅構内の作業見直し